

(別紙4(2))

事業所名 グループホームがじまる荘

目標達成計画

作成日: 平成 22 年 11 月 12 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	月1回職員間で利用者一人について実施しているサービス内容が利用者の現状態と合致しているか話し合いを行っているが、計画の見直しにはつなげていない。	利用者のサービス内容と実施状況、利用者の状態の確認や留意点等を把握し、その都度計画の変更や更新も合わせて検討する。	毎月行っているサービス内容や計画書の見直しの話し合いを計画書の変更や更新に活かし日々の利用者のサービス内容の充実を図る。利用者の状態変化にすぐに対応できるように話し合いをその都度行う。	9ヶ月
2	33	利用者の状態変化に対し、今後重度化や終末期に向けた具体的な指針の整備を検討中である。	利用者の重度化や終末期をどう迎えるか、利用者やご家族の要望へどう応えるか等、事業所としての方針を整備する。出来る限り、当施設で生活できるように支援していく(他施設等も含め、訪問診療も利用する)	毎月利用者1名を対象にカンファレンスを行い、利用者の状態変化に伴う、医療行為(胃瘻増設など)や救急搬送時に行われる心肺蘇生についても話し合う。	12ヶ月
3	33	現在、医療依存度の高い利用者があり、その方の状態について医療職へ報告・相談できるように介護職の知識が必要となっている。	日々の係わりの中で、心身の状態を医療職へ介護職一人ひとりが報告・相談できるようにする。	毎月1回利用者一人ひとりの心身の状況についての勉強会を行う。介護職が行なえる事などを医療職に講師を依頼し行う。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。